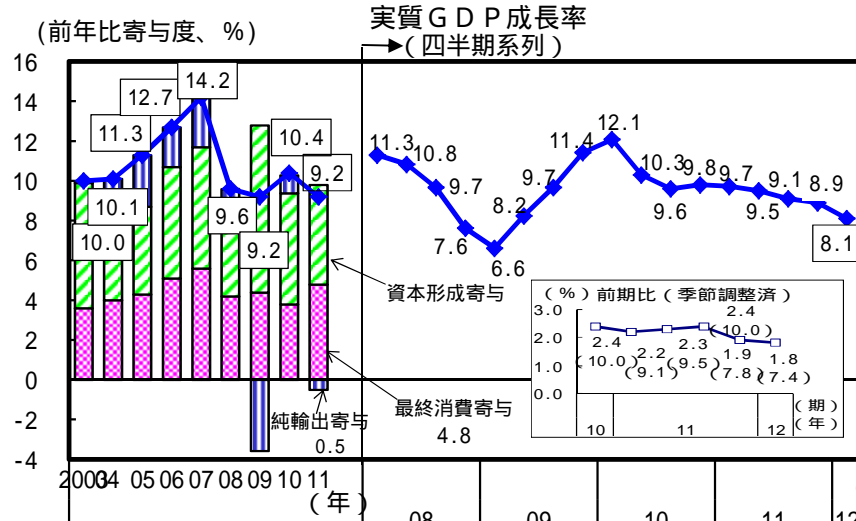
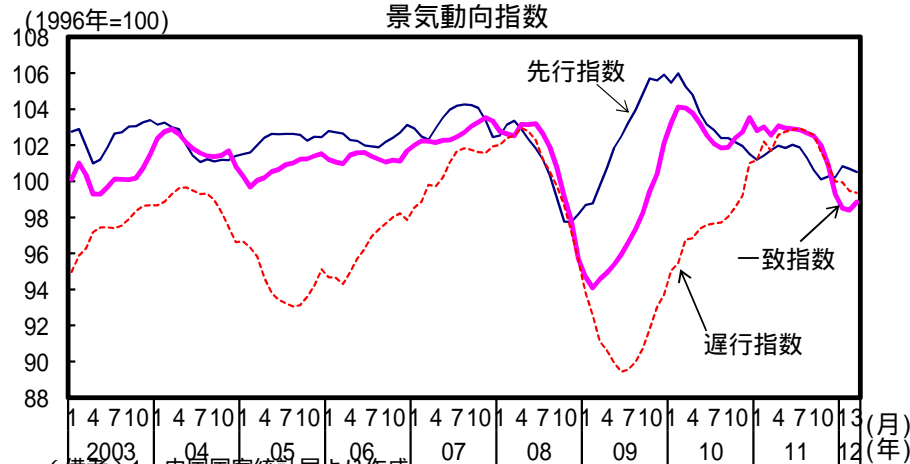


## 2. アジア地域

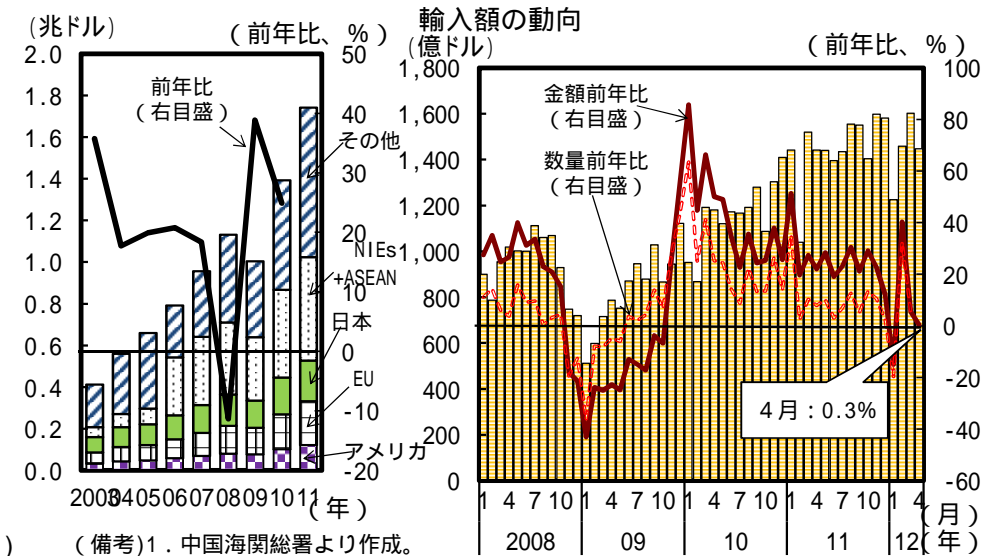
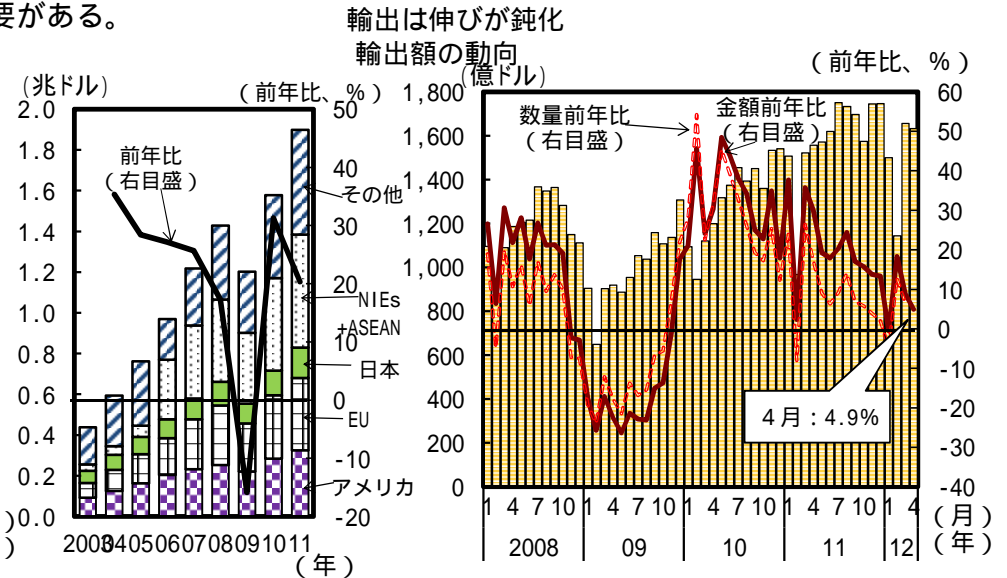
**中国：** 中国では、景気は内需を中心に拡大しているが、拡大テンポが緩やかになっている。  
先行きについては、テンポは緩やかになるものの拡大傾向が続くと見込まれる。  
ただし、輸出、不動産価格や物価の動向に留意する必要がある。



(備考) 1. 中国国家統計局より作成。  
2. 前期比のグラフの( )内の数値は内閣府試算による前期比年率。  
3. 11年9月に10年暦年の成長率及び純輸出寄与度の改定値が公表されたが(改定前は、それぞれ10.3%と1.0%)、それ以外については未公表のため、ここでは改定前の数値を掲載している。

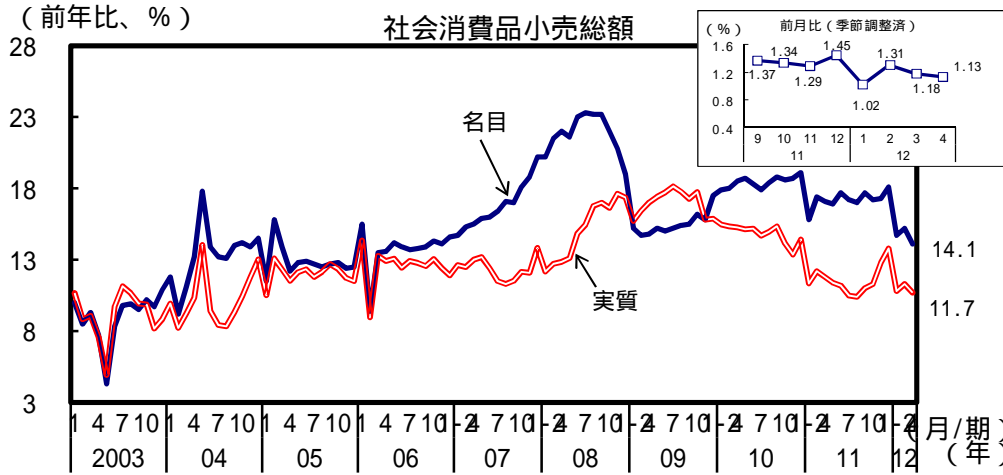


(備考) 1. 中国国家統計局より作成。  
2. 一致指数は鉱工業生産等の8指標、先行指数は消費者期待指数等の8指標、遅行指数は個人預金残高等の5指標から構成されている。



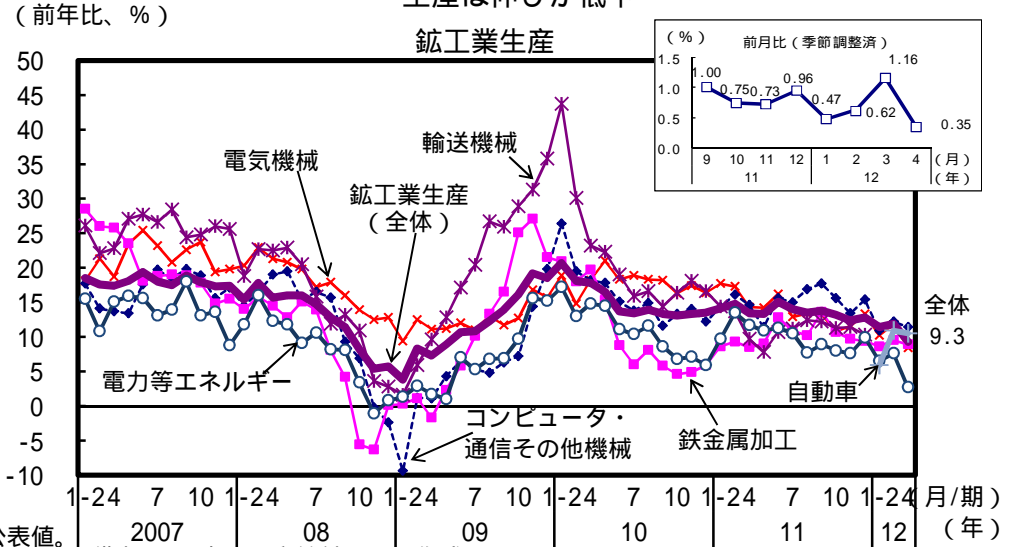
(備考) 1. 中国海関総署より作成。  
2. 月次の値は原数値。  
3. 春節(旧正月)休暇は、08年2月6～12日、09年1月25～31日、10年2月13～19日、11年2月2～8日、12年1月22～28日。

消費はこのところ伸びが低下



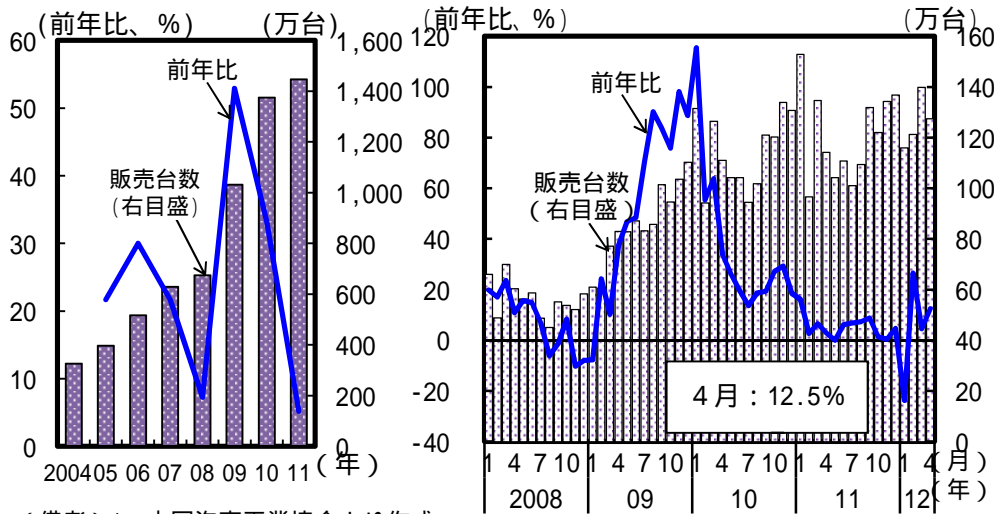
- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。  
 2. 実質伸び率は、11年8月までは小売物価指数を用いて試算。9月以降は国家统计局公表値。  
 3. 中国では、消費刺激策として、農村における家電の普及政策(「家電下郷」)の全国展開(09年2月～、11年11月一部地域で終了)、家電の買換え促進策(「以旧換新」)(09年6月～11年12月)、小型の低燃費車購入に対する補助金支給(10年6月～、11年10月より一部基準を厳格化)を実施している。なお、排気量1.6l以下の乗用車の車両取得税の減税、農村における自動車の普及政策(「汽車下郷」)、自動車の買換え促進策(「以旧換新」)については、10年12月に終了した。

生産は伸びが低下



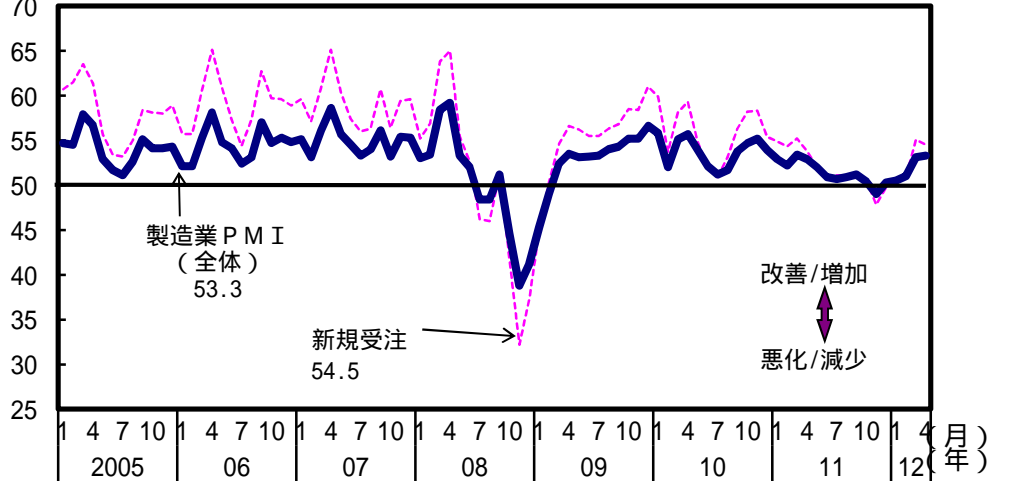
- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。  
 2. 11年1-2月期より、統計対象範囲に変更があったため、厳密には11年1-2月前では接続しない。  
 3. 12年1-2月期より、「輸送機械」が「自動車」と「鉄道・船舶他」に分かれたため、08年～11年12月までは「輸送機械」、12年1-2月からは「自動車」とした。  
 製造業購買担当者指数(PMI)はこのところ持ち直し

乗用車販売台数は伸びがやや上昇



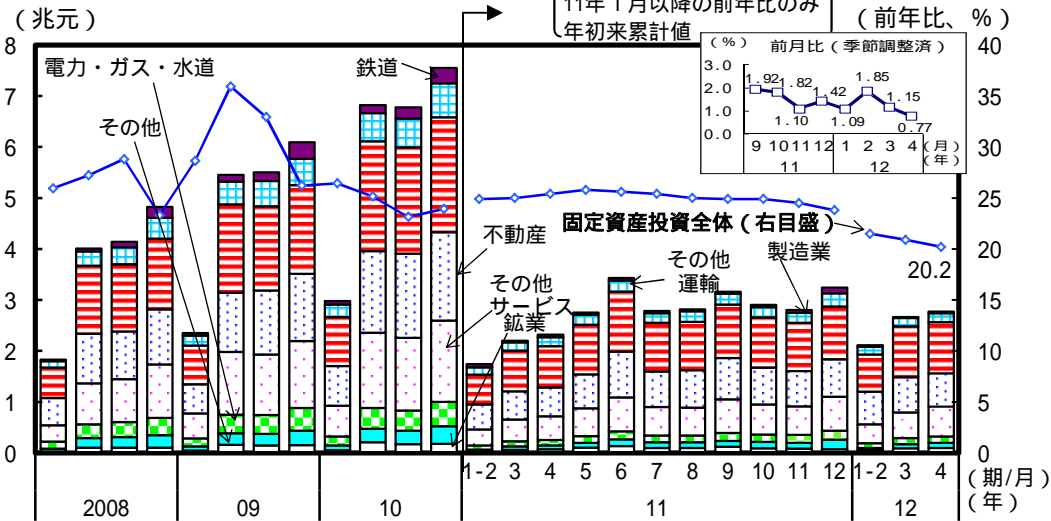
- (備考) 1. 中国汽车工业协会より作成。  
 2. 春節(旧正月)休暇は、08年2月6～12日、09年1月25～31日、10年2月13～19日、11年2月2～8日、12年1月22～28日。

(ポイント)

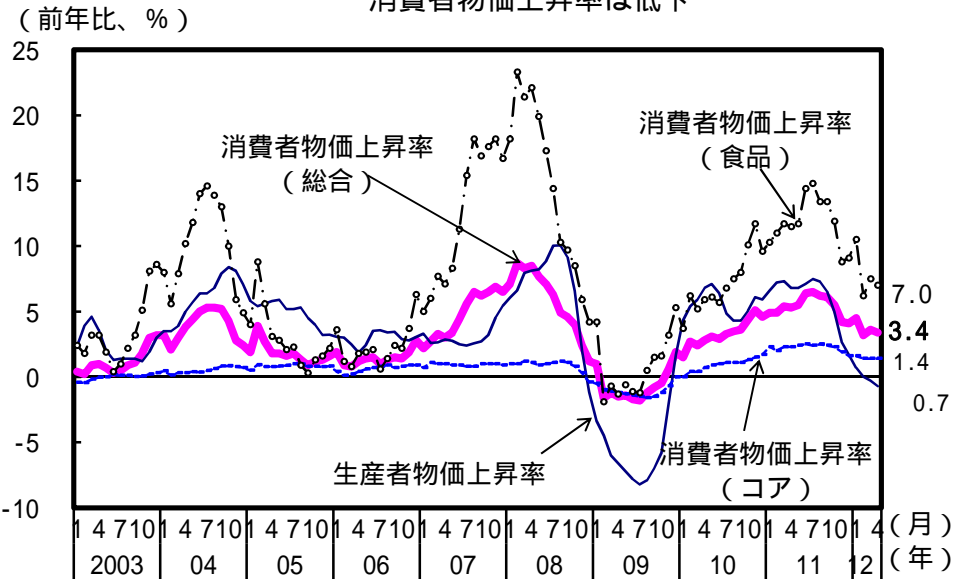


- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。  
 2. 製造業PMIは、製造業の業況に関わる11の項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計したもの。製造業PMI(全体)は、生産高、新規受注、原材料在庫、雇用、サプライヤー納期の5つの指標から合成される。50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。

### 固定資産投資は高い伸びが続いているものの、やや鈍化

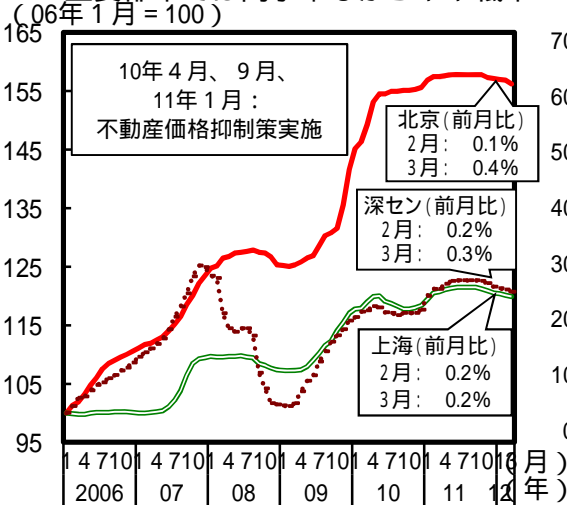


### 消費者物価上昇率は低下

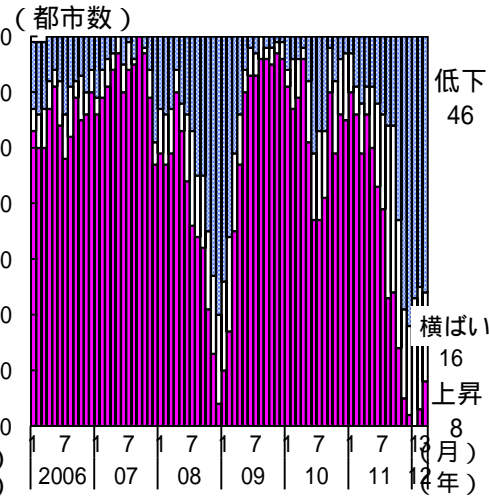


### 新築住宅販売価格：

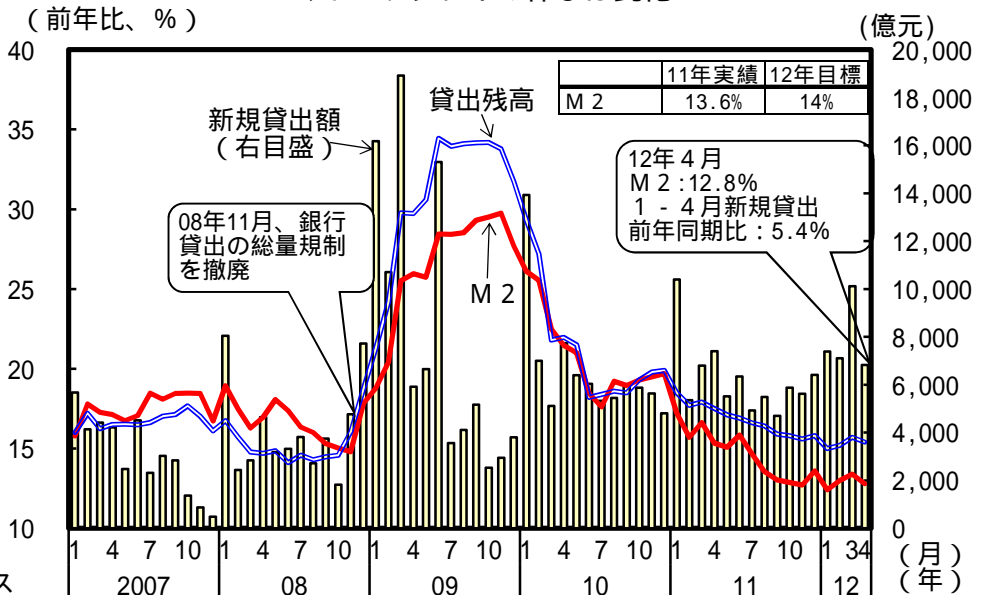
#### 主要都市では高水準ながらやや低下



#### 動向：低下した都市数が増加



### マネーサプライの伸びは鈍化

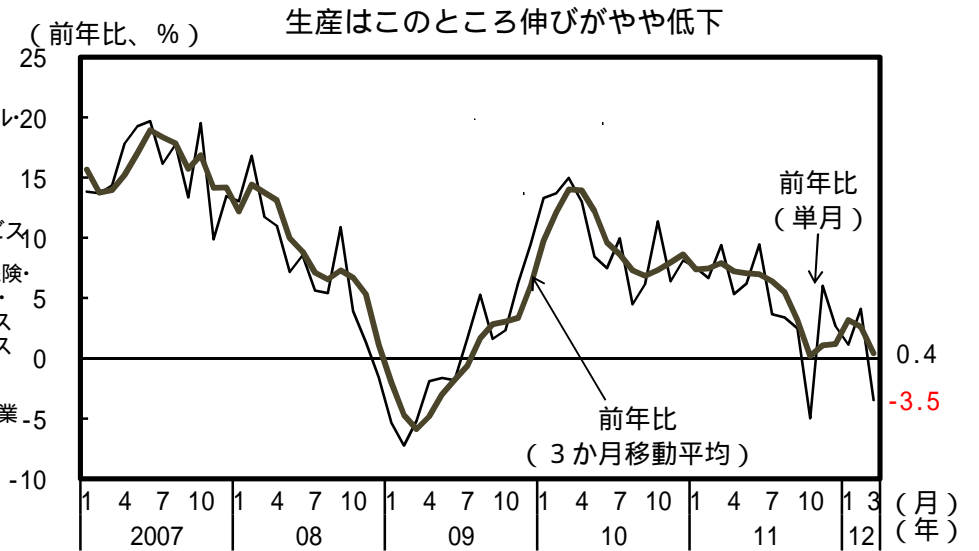
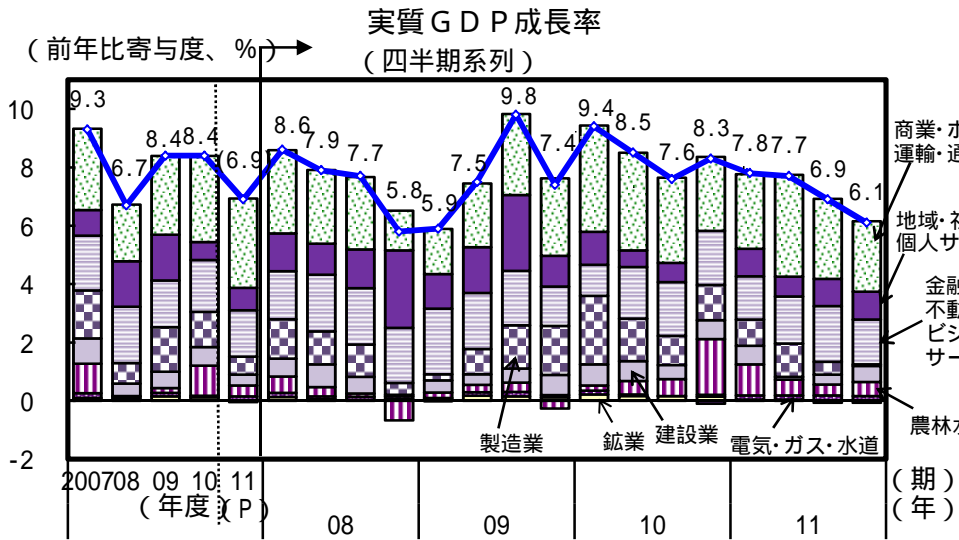




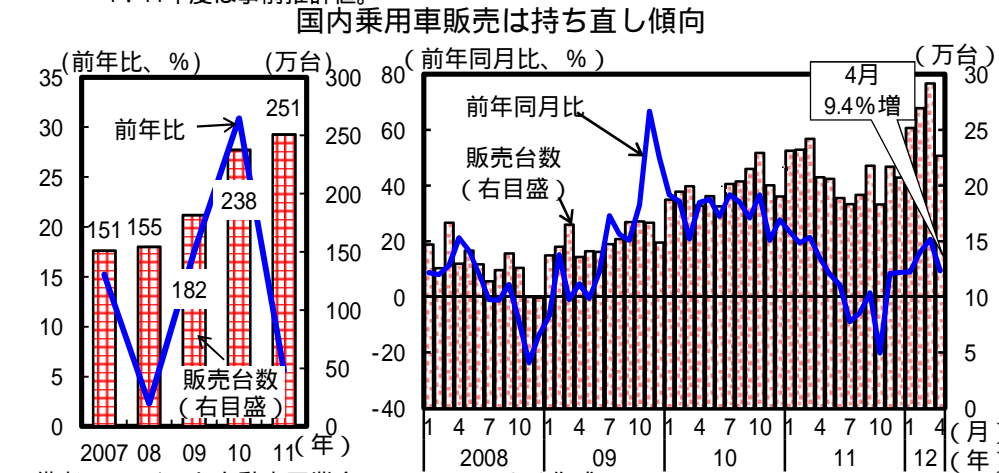
# インド：

インドでは、景気の拡大テンポは鈍化している。

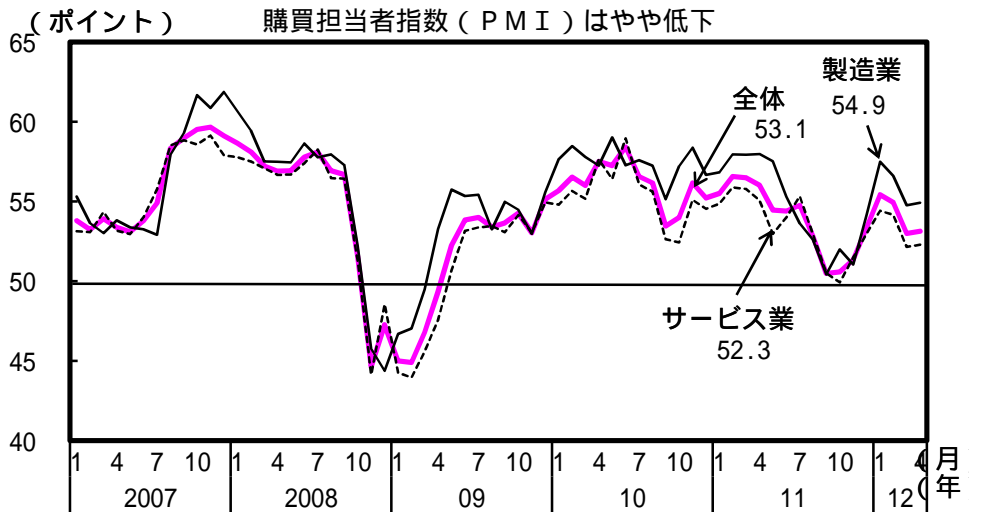
先行きについては、拡大テンポの鈍化が続くと見込まれる。また、物価上昇によるリスクに留意する必要がある。



(備考) 1. インド中央統計局より作成。  
2. 年度は財政年度(4月～翌年3月)による。  
3. 年度の値、09年度以降の4～6月期、7～9月期及び10～12月期は改定値が発表となっている。  
4. 11年度は事前推計値。

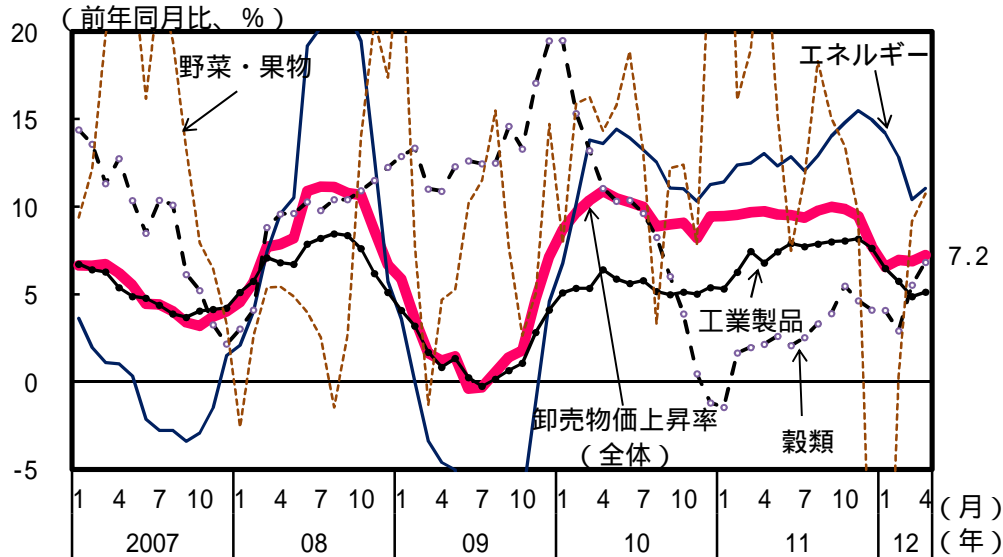


(備考) 1. インド自動車工業会(SIAM)より作成。  
2. 2012年度予算において物品税を以下の税率に引上げ(2012年3月より実施)。(小型自動車等は10%から12%、中型自動車は22%から24%、大型自動車は22%と15,000ルピー/台から27%)



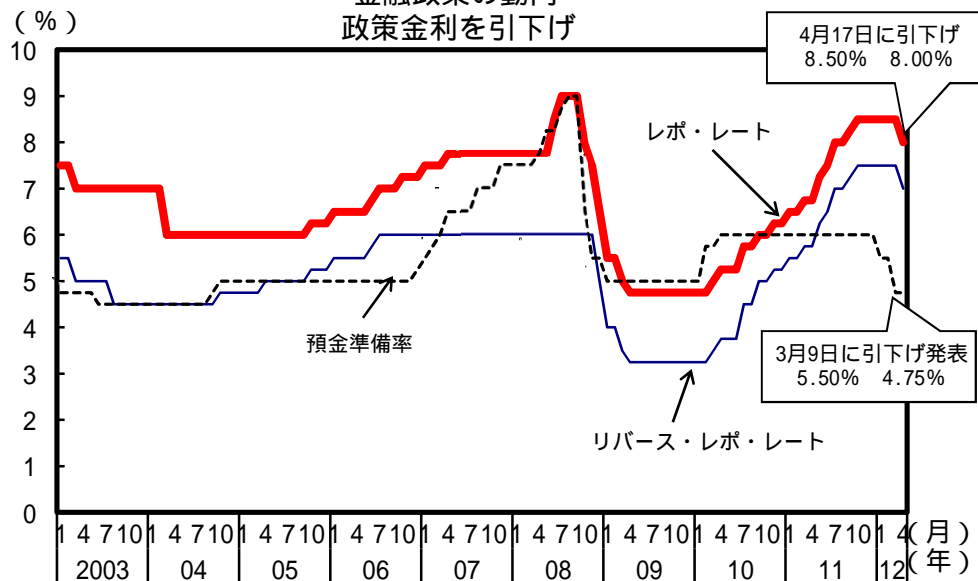
(備考) 1. マークイット社より作成。  
2. 50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。  
3. 全体指数は、製造業指数、サービス業指数それぞれをGDPシェアで加重して合成したもの。

### 卸売物価上昇率はおおむね横ばい



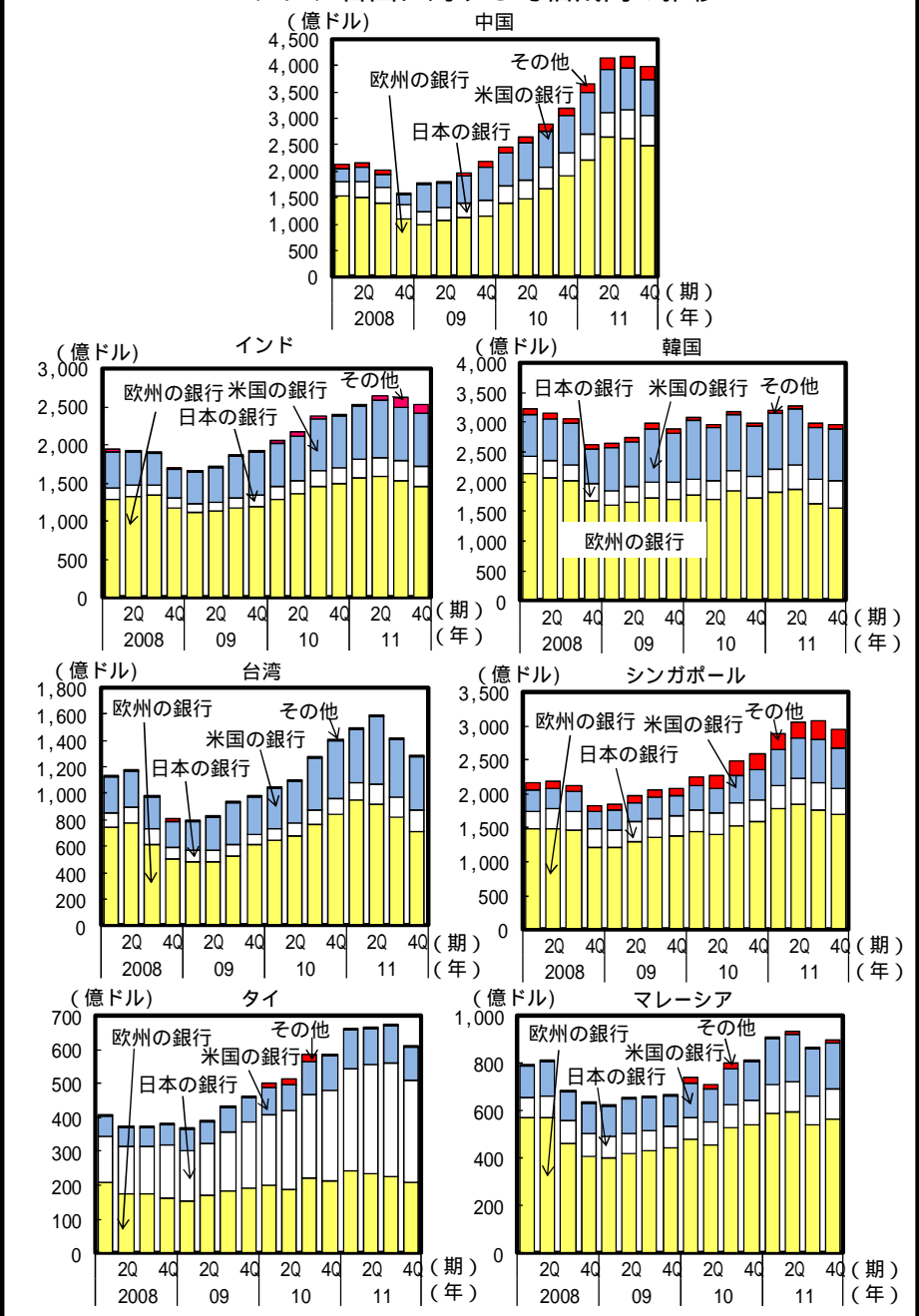
- (備考) 1. インド商工省より作成。  
 2. 卸売物価上昇率はインド政府・金融当局が最も重視する物価指標。なお、インド準備銀行(中央銀行)は、当面の目標を4.0~4.5%、中期的な目標を3.0%としている。  
 3. 12年3月の消費者物価上昇率(全国)は、前年同月比9.5%。

### 金融政策の動向 政策金利を引下げ



(備考) インド準備銀行より作成。

### アジア各国に対する与信残高の推移



- (備考) 1. BIS統計より作成。  
 2. BISにデータ提供している銀行のみの集計。

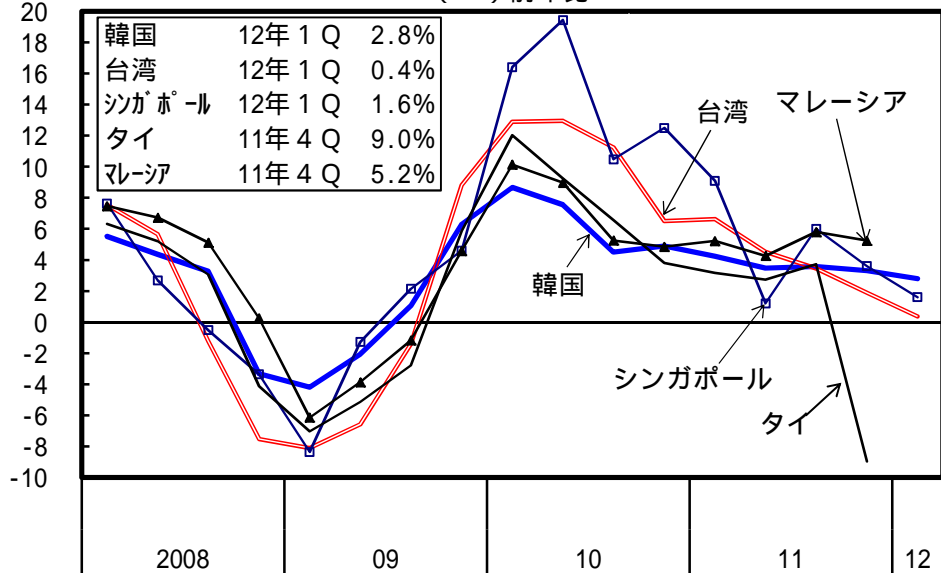
## その他アジア地域：

その他アジア地域では、景気は一部に持ち直しの動きもみられるが、足踏み状態となっている。  
先行きについては、当面、足踏み状態が続くと見込まれる。また、輸出の動向に留意する必要がある。

実質GDP成長率

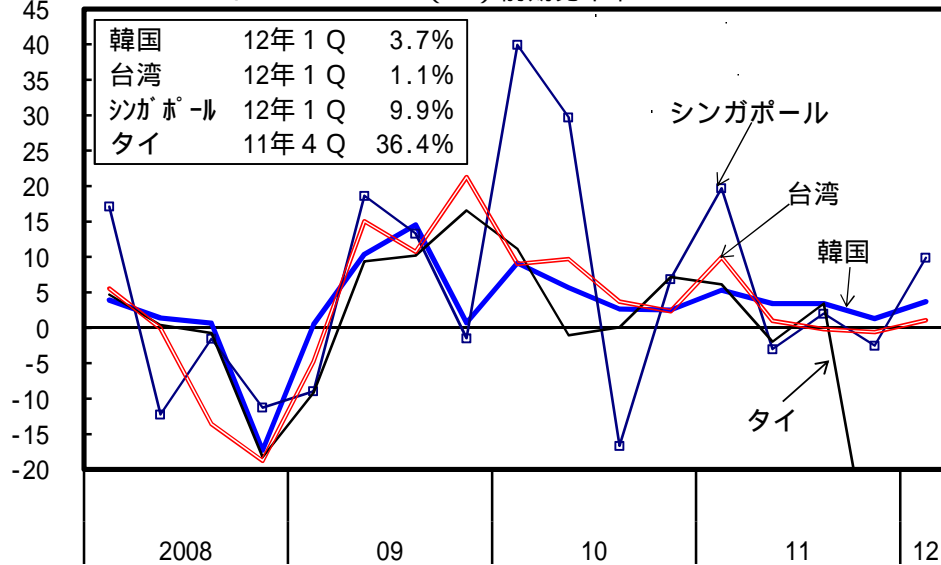
(前年同期比、%)

(1) 前年比



(前期比年率、%)

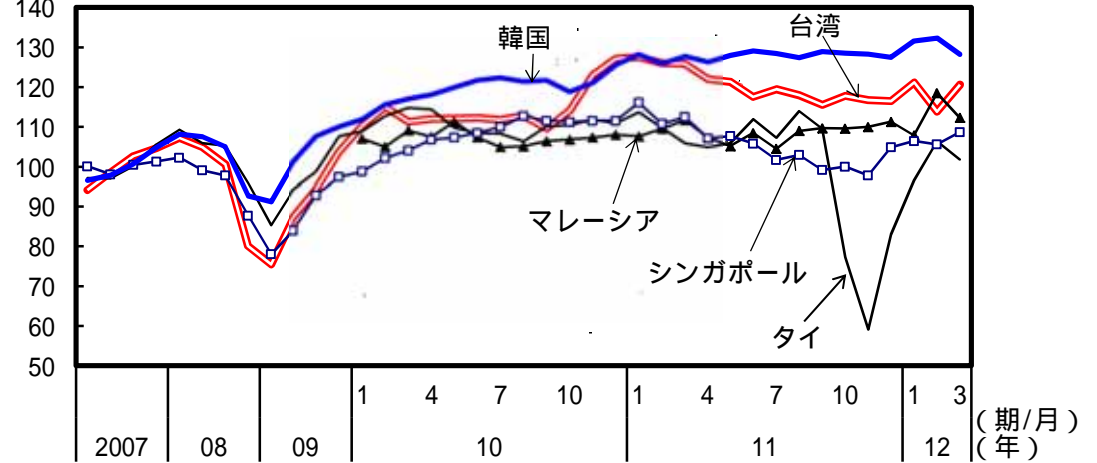
(2) 前期比年率



(備考) 各国・地域統計より作成。

鉱工業生産：総じて持ち直しの動き

(指数、2007年=100)



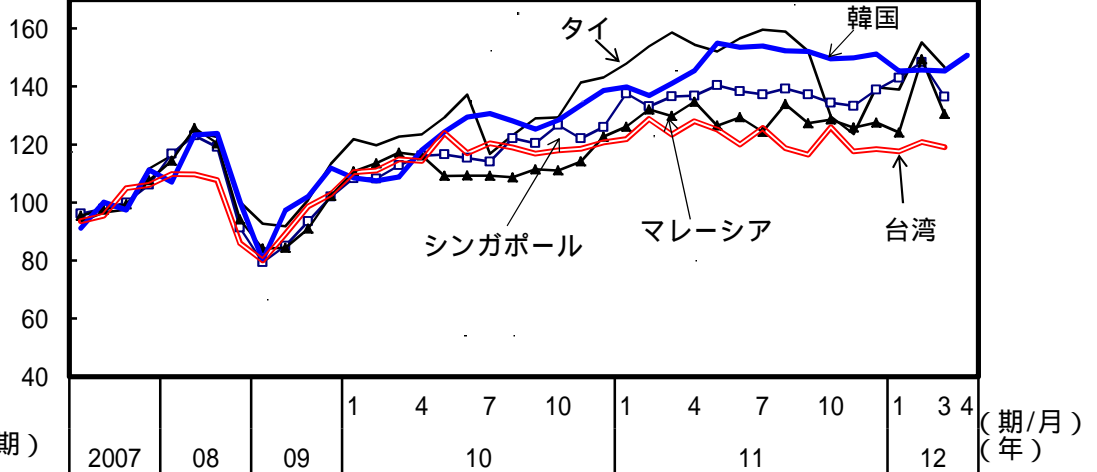
(備考) 1. 各国・地域統計より作成。

2. シンガポール及びタイは製造業の数値。ただし、シンガポールは振れが大きいバイオ・メディカルを除いたもの。

3. 各国の数値は季節調整値。マレーシアは06年=100の数値で、09年からのみ公表。

輸出：シンガポール、タイでは、このところ持ち直しの動き

(指数、2007年=100)

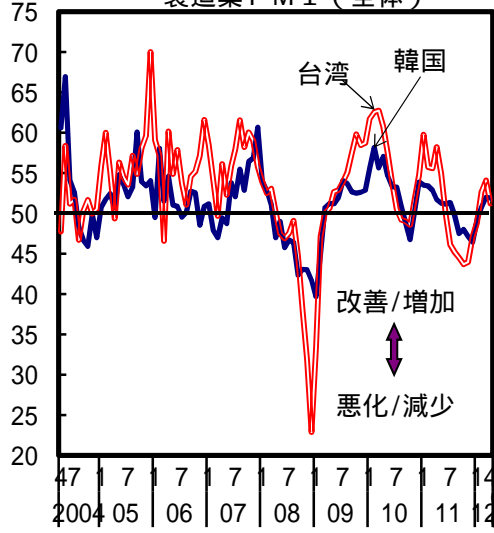


(備考) 1. 各国・地域統計より作成。

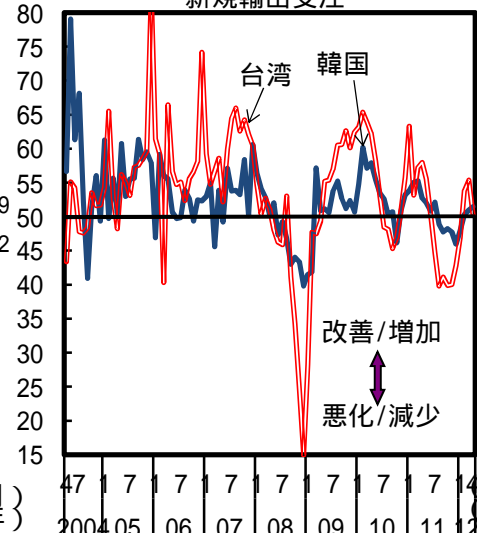
2. 米ドルベース。台湾、シンガポール、タイ及びマレーシアは季節調整値。韓国は原数値の3か月移動平均値。

製造業購買担当者指数 (PMI) : このところ持ち直し

(ポイント) 製造業 PMI (全体)

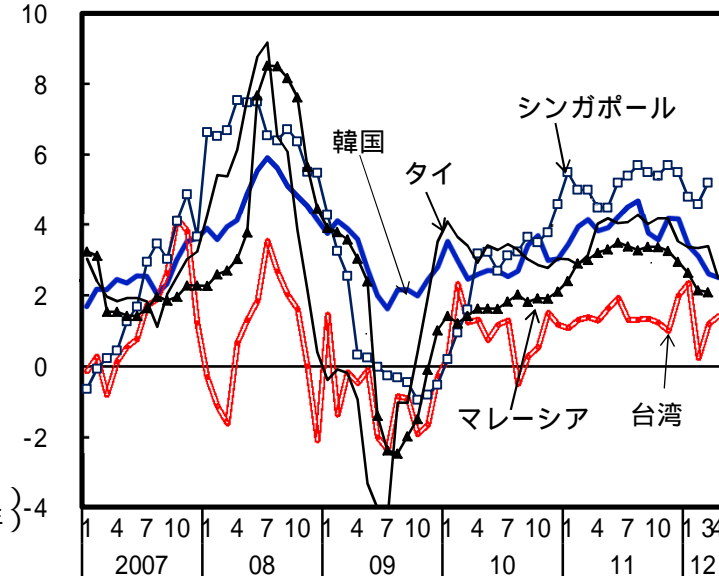


(ポイント) 新規輸出受注



(備考) 1. マークイット社より作成。  
2. 50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。

消費者物価上昇率：韓国、タイ、マレーシアではこのところ低下  
(前年同月比、%)

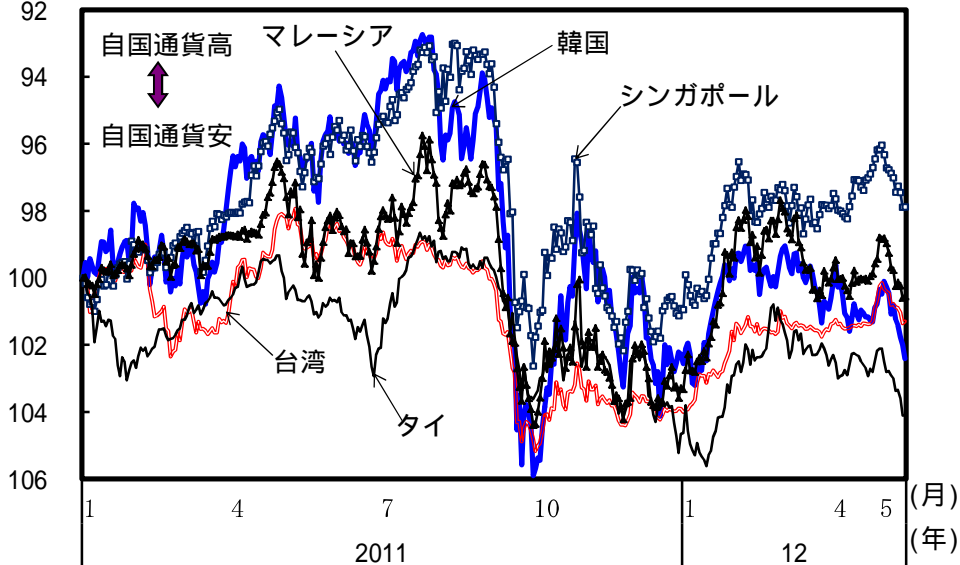


シンガポール(3月)	5.2%
韓国(4月)	2.5%
タイ(4月)	2.5%
(4月)コア	2.1%
マレーシア(3月)	2.1%
台湾(4月)	1.4%

(備考) 1. 各国・地域統計より作成。  
2. 韓国とタイはインフレ目標を採用しており、目標値は、韓国ではCPI総合で3±1%、タイではコアCPIで0.5~3.0%となっている。

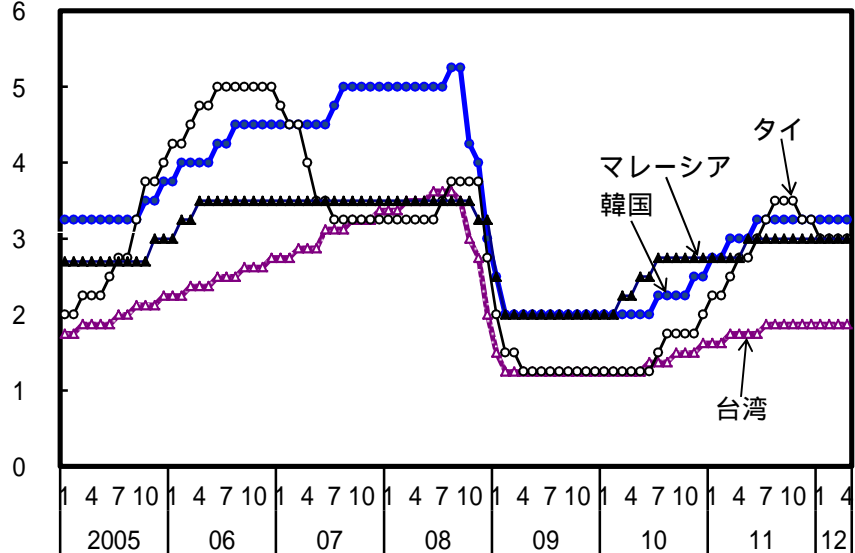
対ドル名目為替レート

(2011年1月3日 = 100)



(備考) ブルームバーグより作成。

(期末値、%) 政策金利の動向



タイ	3.00%
韓国	3.25%
マレーシア	3.00%
台湾	1.875%

(備考) 1. 各国統計より作成。  
2. 韓国は7日物レポ金利、台湾は中央銀行再割引率、タイは翌日物レポ金利、マレーシアは翌日物金利。